

子ども県議会

2024年12月25日(水)

滋賀県

子ども県議会

事務局発行 / No.12



令和6年12月25日、子ども県議会を開催しました。40名の子ども議員は、7月27日（土）に任命されて以来、3回の地域体験活動と5回の学習会を重ね、広い視野で滋賀県について考えてきました。自分自身のことだけでなく、周囲の人々、びわ湖の環境、そして滋賀の未来について真剣に向き合い、子ども議員同士で意見を共有してきました。

集大成として、滋賀県議会議場において、滋賀県をより良くするための11個に及ぶ「質問」や「子ども宣言」の発表を行いました。当日は、滋賀県議会から有村國俊議長、小川泰江教育・子ども若者常任委員会委員長を来賓としてお迎えしました。歴史ある県議会議場で、子ども議員たちはそれぞれの役割を果たし、堂々と発言する姿が見られました。

有村滋賀県議会議長、小川教育・子ども若者常任委員会委員長からご挨拶

どうすれば「滋賀県に生まれてよかった」「住んでよかった」と思っただけなのか、滋賀県の良いところを残しつつどうやって課題を解決できるのか等、考えるべき事はたくさんあります。皆さんも社会の一員として大いに話し合って頂きたいと思います。

滋賀県議会 有村議長



ゆっくり深呼吸をして、皆さんの思いが知事はじめ、当局の皆様にはしっかりと伝わるように、頑張ってください。

教育・子ども若者常任委員会
小川委員長



子どもたちが選んだ、

3人の子ども議長が進行を務めました！

11個の提案を堂々と

そして11の答弁をいただきました！



今回の本番を終えて、緊張しましたが、全力を出しきれたと思います。

田中 亮成さん



滋賀の象徴・琵琶湖の未来をみんなで守れ



三日月知事 答弁



自分の番が近づいてくると緊張して不安になったけど、落ち着いて話せてよかった。

田中 杏菜さん



バリアフリートイレのあり方



山田健康医療福祉部長 答弁



実際に提案を実現させるために、たくさんの人の協力があるということを学んだ。

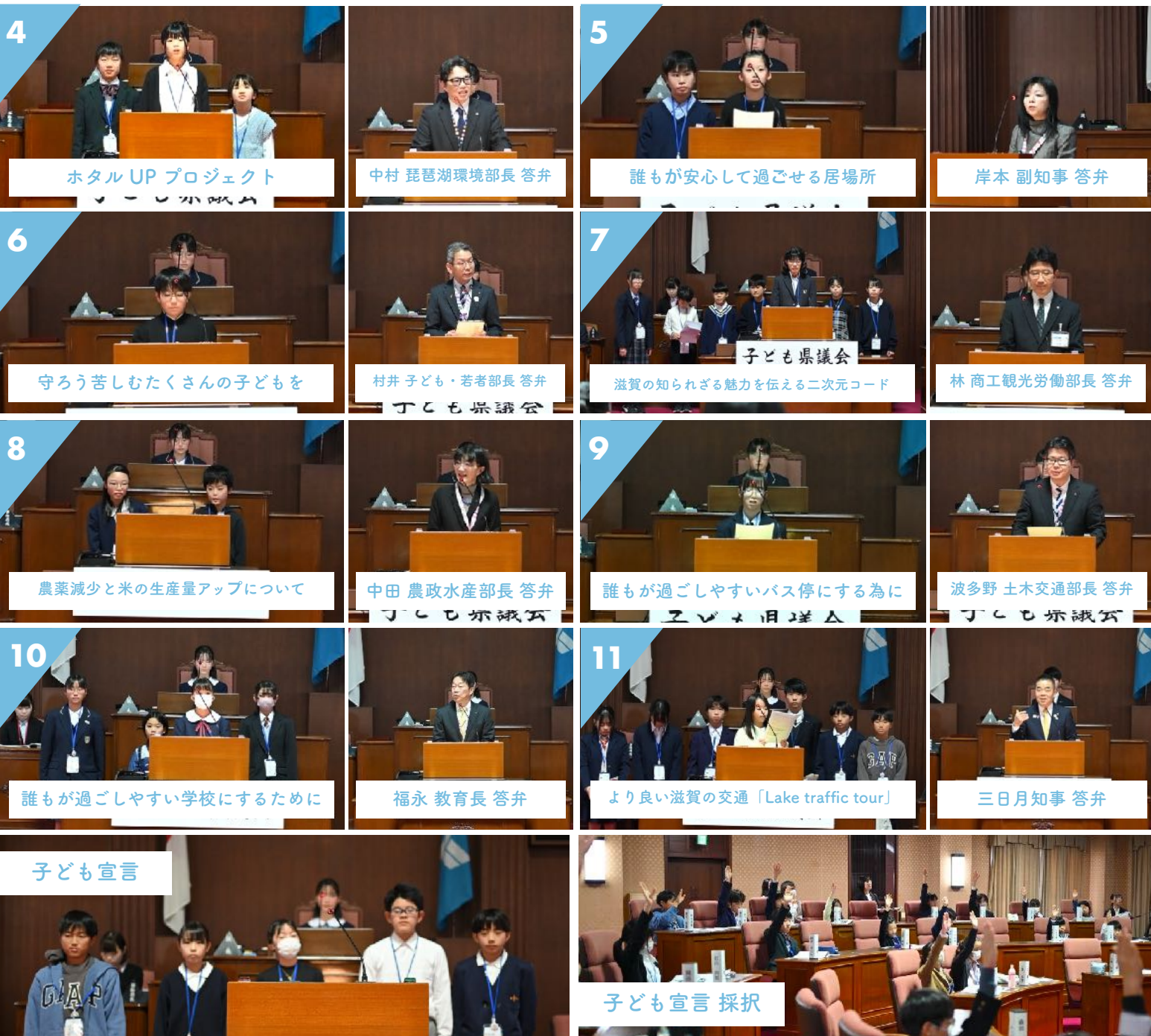
山崎 心温さん



歴史でつながる滋賀県に



東郷文化スポーツ部長 答弁



三日月知事からメッセージ

7月27日の任命式の時に3つの「み」を大切にしてくださいと言いました。身の回りのこと、みんなのこと、未来のことを考えられる議員さんになっていただければとみなさんに投げかけました。今日のご質問やご提案、動作、最後の子ども宣言を見て、私がお願いした呼びかけたメッセージそれぞれに体现しているなと思い、とても嬉しく心強く思いました。やっぱりみんなの力はすごいと思いました。みんなが調査して、みんなで議論して作って、とっても説得力のある提案や質問をして頂いたからだと思い、感服しました。ここで答弁して終わりではなく、これからも参画してくれたら嬉しいと思います。

